



学校だより7月号

令和5年6月30日
横浜市立六つ川小学校
ホームページ



学校教育目標
自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

ぐんぐん育つ

副校長 田川 容子

校庭を囲むフラワーロードには、色とりどりの花が広がっています。1年生の植木鉢には、一人ひとりが選び、種から育てた花がつぼみをつけ始めました。2年生の植木鉢や職員室前の4くみの花壇のキュウリやナスやピーマンやトマトの実も大きくなりました。野菜たちもぐんぐん育っています。

2年生、4くみは、5月の連休明けに一人ひとり選んだ植物を、農援隊の皆様へ植物の特性と育て方を一から教えていただきながら植えました。苗を手に取り実践しながら、水やりの仕方まで見せていただきました。「どのくらい大きくなるかな。」と花を咲かせたり、実が大きくなったりする様子を想像し、植え終わった子どもたちの目はきらきらと輝いていました。



毎朝、登校すると成長具合を確認する姿が見られます。初めて芽が出た友達の植木鉢を見つけると「やっと芽が出て、よかったね。」と友達に話しかける声が聞こえてきました。話しかけられた子は「どれかな。思ったより小さいな。でも大きくなってね。」と土がまだかぶったままの双葉に笑顔で話しかけていました。

3年生の教室では、キャベツの葉に付いた卵から育てたモンシロチョウが成虫となりました。虫めがねを用いて観察しながら「目がキラキラしているよ。見てみたら。」「羽の模様も黄色と灰色のバランスがよいよね。」という会話が聞こえてきました。卵から成長を見守ってきたモンシロチョウは、特別な存在となっていると感じました。

4月から3か月経ちました。植物や生き物たちの成長と共にクラスの友達との関わりが増えています。植物や昆虫を育てたり、モルモットの「ピスタチオ」と「せいじ」を世話したりする中で、農援隊の皆様を始め、周りの学年の友達や他学年の子どもたちとの関わりも広がっています。上級生は育てたり、世話したりした経験を思い出し、アドバイスをしています。下級生はアドバイスを受けて、水の量を加減したり、モルモットの運び方を工夫したりしています。水や日光に加え、毎日の世話とともに野菜がぐんぐん育つように、人は言葉のシャワーも大切で、今、まさに関わりを通して、ぐんぐん育っています。周りの方との関わりが、温かい言葉かけと気持ちのやり取りが広がる機会になるよう声掛けをしております。

ご家庭でも話題にさせていただき、子どもたちの経験を聞いていただけたらと思います。今月もご理解、ご協力をお願い申し上げます。